

2004年7月20日

中国無錫市における情報電子材料拠点の設立について

住友化学はこのほど、中華人民共和国江蘇省無錫市に「住化電子材料科技（無錫）有限公司」を設立し、情報電子材料の新工場を建設することといたしました。

住友化学は、情報電子材料を重点分野として、特に液晶関連部材について、需要が大きく拡大しているアジアでの生産拠点の拡充に積極的に取り組んでいます。中国においても需要の急速な拡大が予想されることから、生産拠点の拡充を検討してまいりましたが、このほど無錫市に新工場を建設することを決定し、同市の国家ハイテク産業開発区内に約40万 m²（12万坪）の土地使用権を購入する契約を7月13日に同市国土资源局と調印いたしました。無錫市は、長江デルタ地域で主要都市の一つであり、上海・蘇州・常州等と高速道路や鉄道で直結している上、同地域には多数の情報電子産業が存在し、今後の成長が期待されています。さらに同市にはシャープ等有力重要顧客が進出しており、当社は今回の拠点確立により製品供給と共に顧客サポート体制を一層強化し、中国における事業の拡大を図ってまいりたいと考えています。

新会社は、7月下旬までに法的手続きを完了し、建設許可取得後、直ちに工場建設に着手する予定です。まず、液晶用導光板の製造工場（能力5千トン／年）と偏光フィルムの製品化工場（能力10百万枚／月）を建設し、2005年夏の操業開始をめざします。偏光フィルムについては、中国における液晶パネルの需要が急速に伸びており、需要家の要請に応じるために、需要の伸長に応じて逐次製品化工場の増強を実施するとともに、大型液晶パネルの立ち上げに応じて2～3年後を目途に原反工場を建設する予定です。導光板については、第一工場完成後直ちに第二工場の建設に着手し能力を倍増する計画です。

新会社は、急速に拡大する中国の液晶パネルの需要に対応し、順次各種液晶用部材のプロダクトラインを拡充してゆく予定であり、カラーフィルター工場の建設も検討するとともに、技術開発センターや物流拠点としての活用も視野に入れ、中国における住友化学の情報電子材料分野の戦略拠点として育成を図ります。

なお、当社は現在、上海の住化電子材料科技（上海）有限公司において偏光フィルムの製品化工場を運営していますが、同地での労務費の上昇や要員確保の困難さ、更に増設余地もないことから、将来は順次製造を無錫へ移管し、上海は技術開発に重点を移し、試作品や少量品種の生産基地として活用してゆく予定です。

住友化学は、今回の中国における拠点整備により、日本・韓国・台湾と合わせた四つの拠点で今後急速に拡大するアジア地域の液晶関連部材の需要に柔軟に対応し、各地の顧客に迅速かつ充実した需要家サービスを実施できる体制を整え、これらを最大限に活用し重点事業である情報電子材料事業を成長させてまいります。

新会社の概要は以下の通りです。

1. 会社名 住化電子材料科技（無錫）有限公司
2. 設 立 ‘04年7月末
3. 資本金 当初9百万ドル（10億円邦貨相当）
3年以内に漸次73百万ドル（80億円邦貨相当）まで増資の予定
4. 設備能力 第一期（‘05年夏）
導光板 5,000トン／年
偏光フィルム 10百万枚／月

第二期（‘06年夏）以降 （数字は第一期を含む累計）
導光板 10,000トン／年
偏光フィルム 35百万枚／月
5. 人 員 約300名（‘05年夏）
6. 社 長 宮竹賢一

以上